

マタイ 48

聖書の教える 結婚の祝福

マタイ福音書19:1～15

男と女・結婚の祝福

Shikaoichurch.com

この数字は？

- ① 1.15 … 出生率(2.0で維持)
- ② 66万6,661人 … 出生数(2024)
- ③ 48.5万件 … 婚姻数(2024)
- ④ 18.6万件 … 離婚数(2024) 38%
- ④ 28%,18% … 生涯未婚率(50歳時点)

年々悪化 崩壊していく結婚



イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)

ベルゼブル論争

バプテスマ
荒野の誘惑
弟子の召命

宣教開始
メシア的奇跡
安息日論争

たとえ話
五千人の食事
ペトロの信仰告白
山上の変容

最後の弟子訓練
エルサレム入城
最後の晩餐

紀元70年
エルサレム陥落



弟子訓練の最終段階での主イエスの教え

- イスラエルの指導者は、メシアを拒絶、命を狙う
 - 付き従うのは、小さな者である弟子たち
 - 迷い出た一匹の羊を探し求める主の愛が!!
- 主イエスは、**教会**の礎となる弟子たちを訓練
 - 教会を支えるのは、悔い改めと赦しの原則
 - 悔い改めのない者への懲戒も定められた。

結婚は男と女の祝福の源である

①原則：結婚は祝福 1～10

②例外：独身の賜物 11～12

③結果：結婚の祝福の実 13～15
(子どもの祝福)





①原則：結婚は祝福

マタイ福音書19:1～10

サマリア

本編 ユダヤ地方へ マタイ19:1~2

イエスはこれらの話を終わると、ガリラヤを去り、ヨルダンの川向こうを経てユダヤ地方へ*入られた。

すると大勢の群衆がついて来たので、その場で彼らを癒やされた。

*ヘロデ・アンティパスの領地を避けて

➡エルサレムのあるユダヤ地方へ

■ 追いすがって来た群衆を癒やされた。



本編 パリサイ人の試み マタイ19:3

パリサイ人たちがみもとに来て、イエスを試みるために*言った。「何か理由があれば、妻を離縁すること*は律法にかなっているでしょうか。」

*離婚を巡る論争にイエスを巻き込もうと!!

*申命記24:1…律法：離縁の規定

「妻に何か恥ずべきことを見つけた」場合

➔「恥ずべきこと」の解釈が問題に!!

些細な理由での離縁も!!



本編

男と女の創造 マタイ19:4

イエスは答えられた。「あなたがたは読んだことがないのですか。創造者ははじめの時から『男と女に彼らを創造され*』ました。

*創世記1:27…当然誰もが知ってること!!

「神は人を**ご自身のかたち**として創造された。**神のかたち**として人を創造し、男と女に彼らを創造された。」

■神は、父子聖霊なる三位一体の愛の神。
神の内に、完全な愛の関係性がある。

→**愛の関係を持つ者として人を創造**



本編 男と女が一体に マタイ19:5~6

そして、『それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは**一体**となるのである*』と言われました。

ですから、彼らはもはやふたりではなく**一体***なのです。そういうわけで、**神が結び合わせた***ものを人が引き離してはなりません」

*創世記2:24 …結婚の大原則

*サルクス(単)…“(一つの)体”

*夫婦は、神が結びあわせたもの
性的、社会的、結びつき



イスラエルの結婚式

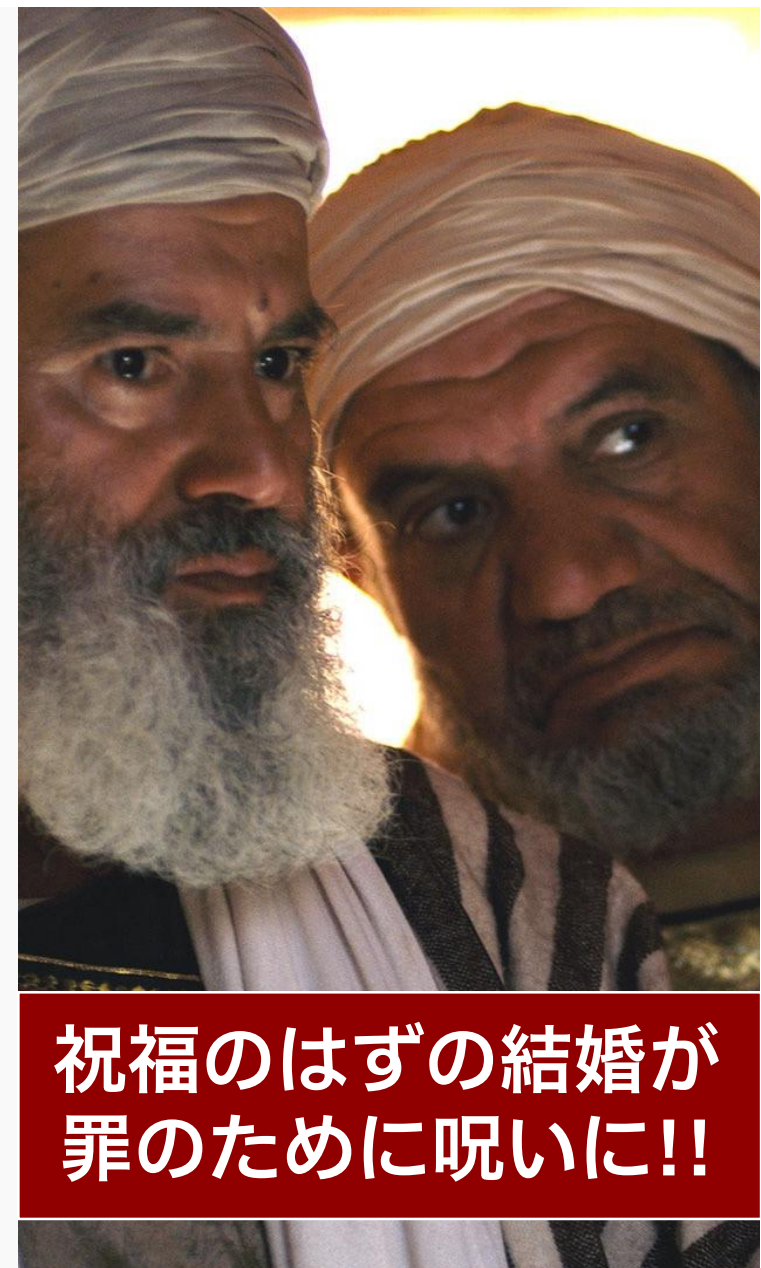
本編 律法の背景 マタイ19:7~8

彼らはイエスに言った。「それでは、なぜモーセは離縁状を渡して妻を離縁せよと命じたのですか。」

イエスは彼らに言われた。「モーセは、あなたがたの心が頑ななので、あなたがたに妻を離縁することを許した*のです。しかし、はじめの時からそうだったわけではありません。

*神が望んだことではない…消極的御心

■人の罪ゆえの離縁の重さを、身をもって
味わい知らされているのが、私たち人間。



祝福のはずの結婚が
罪のために呪いに!!

本編

離縁と姦淫 マタイ19:9

あなたがたに言います。だれでも、淫らな行い*以外の理由で自分の妻を離縁し、別の女を妻とする者は、姦淫を犯すことになるのです。」

*不貞、不品行、姦淫

姦淫より重いのが靈的姦淫(エズラ9章)

■些細な理由で気に入らない妻を離縁し、別な女を妻にする者が、実際にいた。



①原則：結婚は祝福

- 男と女が**一体**となる → 結婚の祝福
三位**一体**の愛の関係性を持った、神のかたちに!!
- 本来の男女の結婚の祝福は、人の罪によって喪失
→ 律法に離縁の規定が必要に!!
- 離縁は、罪の時代の例外規定。本来の有り様からは逸脱。
→ 理由は、あくまでも不貞・姦淫に限定される。



②例外：独身の賜物

マタイ福音書19:11～12

サマリア

本編 独身免許 マタイ19:10～11

弟子たちはイエスに言った。「もし夫と妻の関係がそのようなものなら、結婚しないほうがましです。」

しかし、イエスは言われた。「そのことばは、だれもが受け入れられるわけではありません。ただ、それが許されている人だけができる*のです。」

*「一人ひとり神から与えられた自分の賜物があるので、人それぞれの生き方があります。 Ⅰコリ7:7」



本編 独身の賜物 マタイ19:12

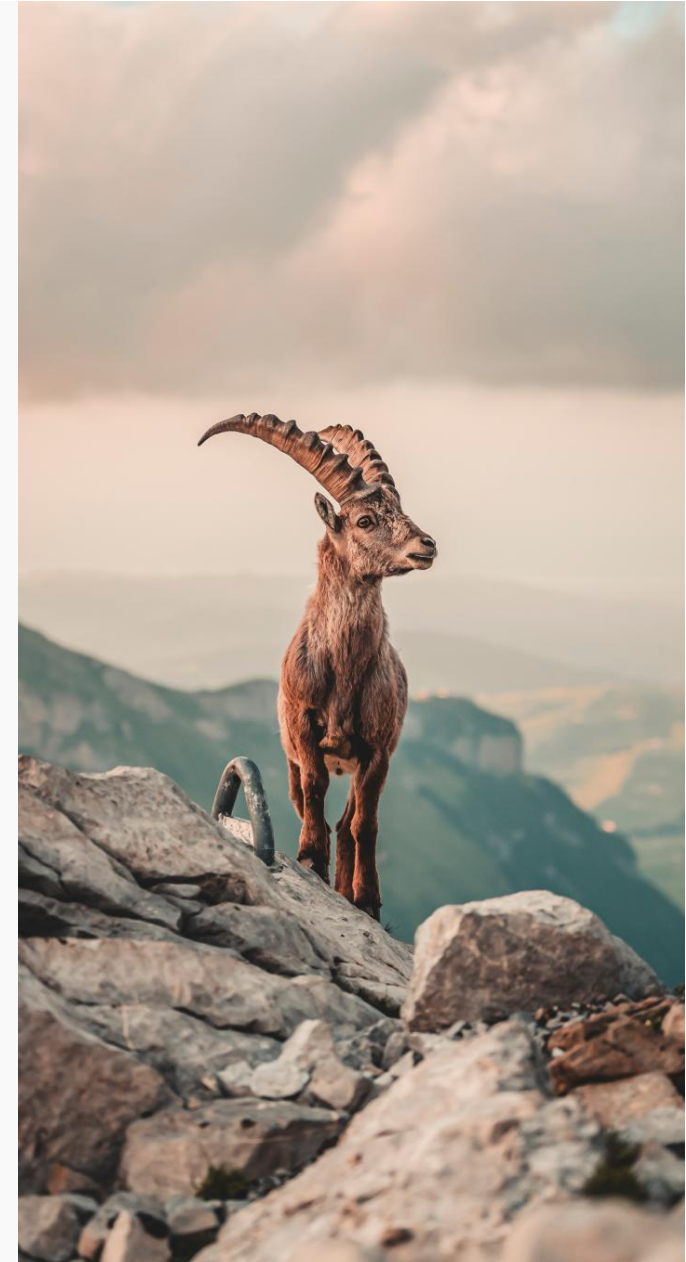
母の胎から独身者として生まれた人*たちがいます。また、人から独身者にさせられた人たち*もいます。また、天の御国のために、自分から独身者になった人たち*もいます。それを受け入れることができる人は、受け入れなさい。」

*先天的独身者 …身体的障害?!

*後天的独身者 …たとえば宦官?!

*神への献身ゆえの独身者(イエス、パウロ)

「独身の男は、どうすれば主に喜ばれるかと、主のことに心を配ります。Ⅰコリ7:33」



②例外：独身の賜物

- 結婚して子をもうけるのが、男女の祝福の聖書的原則。
 - …イスラエルは、繁栄を約束され、また求められた。
 - メシアの系譜をつなぐことは、最も重要な使命。
- 例外的に、限られた人に許されているのが、独身。
 - …神への献身ゆえの独身は、最も尊い。
 - イエス、パウロ(メシア登場以降)



**③結果：結婚の祝福の実
(子どもの祝福)**

マタイ福音書19:13～15

ヨルダン川西岸

本編 子どもたち マタイ19:13

そのとき、イエスに手を置いて祈っていた
だく*ために、子どもたちがみもとに連れ
て来られた。すると弟子たちは、連れて来
た人たちを叱った。

*メシアの祝福を求めた

■ マルコ10章でも離縁の話の後の出来事。

➡結婚(離縁)と子どもの祝福はセット!!

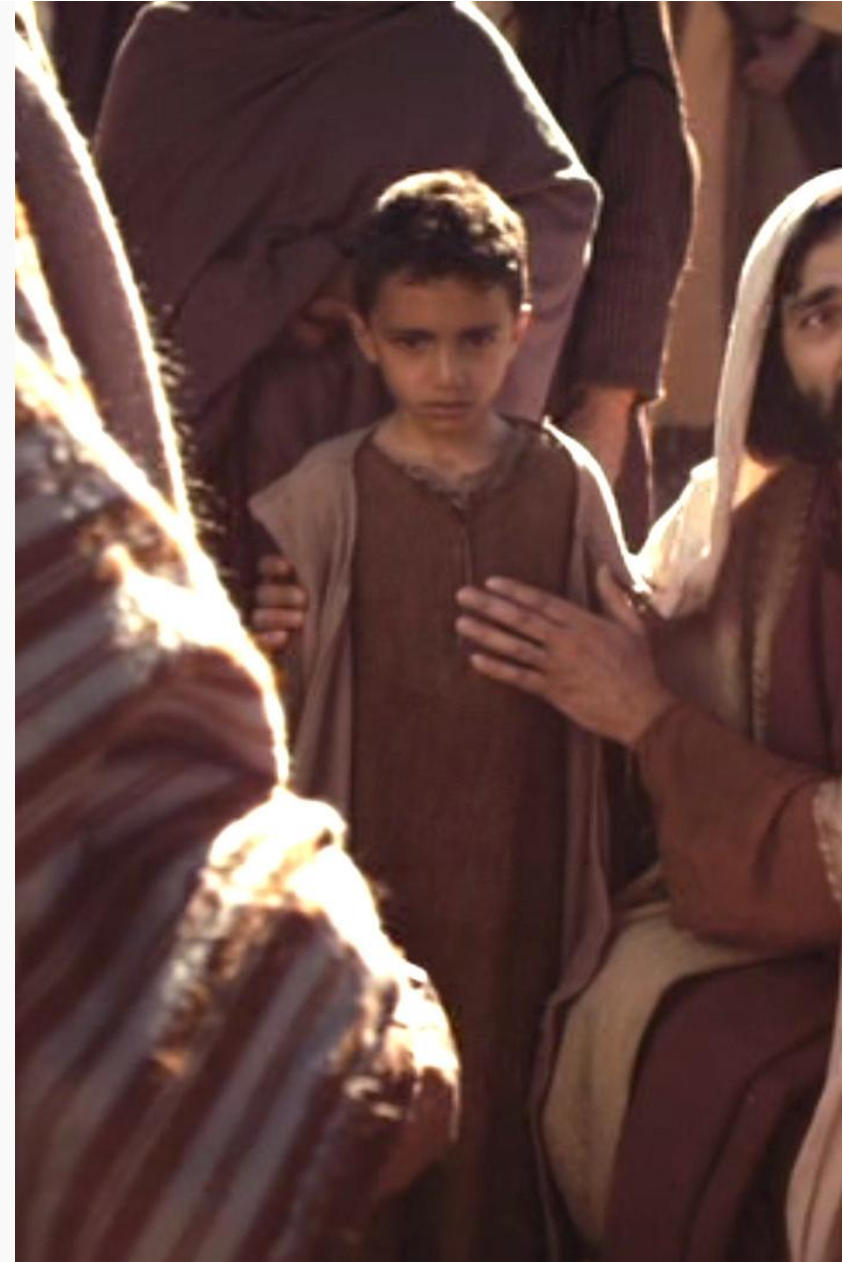


本編 子どもの祝福 マタイ19:14~15

しかし、イエスは言われた。「子どもたちを来させなさい。わたしのところに来るのを邪魔してはいけません。天の御国はこのような者たちのもの*なのです。」

そして手を子どもたちの上に置いてから、そこを去って行かれた。

- イエスがよいとされた、こどもの特性
 - ➔ 神の権威に対して、素直で従順。
 - ➔ 神の祝福をただ求める



③結果：結婚の祝福の実

- 男と女の結婚・一体化の最大の祝福が、子ども。
- 結婚の真理が語られた後での子どもの祝福。
- 不妊の夫婦をどう考える？
 - ➔ 律法時代は、最大の不幸
 - 例) 不妊の女…サラ、ハンナ、エリサベト
 - ➔ 教会時代は、夫婦での献身の召し(独身者に準ずる)



まとめと適用

結婚の原則を守り 祝福にあずかろう

ガリラヤ湖

結婚は、男と女の祝福の源である

①原則：結婚は祝福

- …男と女が一体となる
神の愛のかたちに!!
- …罪のゆえの離縁(消極的御心)

②例外：独身の賜物

- …限られた人に許されたこと
主への献身ゆえの独身の尊さ

③結果：結婚の祝福の実

- …子どもは、結婚の祝福

①大原則 神は、人に、結婚を命じ、祝福された

「産めよ、増えよ、地に満ちよ」

「男と女に彼らを創造された」

「それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、
ふたりは一体となるのである」

②例外

罪のゆえに認められた離縁と独身

■ 人の罪のために、壊れてしまった男女の関係。

「あなたは夫を恋い慕うが、彼はあなたを支配する」

創世記3:16

■ 神は、不貞に限り離縁を認められた。(消極的御心)

■ メシア以降の教会時代は、献身のための独身は尊い。

➔ 独身は、限られた人に許されている

③結果

結婚の祝福が、子ども

- 結婚の祝福が、子ども。すべての人は、結婚の祝福の実。
- 墮罪前のアダムのように、無垢*ゆえの子どものよい性質が。
→主への従順、素直さ
- 来るべき神の国では、誰もが子どものようになる。
「復活の時には人はめとることも嫁ぐこともなく、
天の御使いたちのようです。マタイ22:30」
→栄光の体をもって、主に従順に素直に仕え、喜び感謝する

無垢な子どもは、来るべき神の国での私たちの投影

★ 世の終わりが近づく時代に ★

- 日本の生涯未婚率は、間もなく3割超え。
世界人口は、2050年で減少に転じる可能性。
結婚も出産も、当たり前でなくなる時代に!!
- 何にせよ、主の祝福と賜物を正しく理解し、受けとろう。
結婚の祝福である、子どもたちを大切にしよう。
子どもたちへの信仰の継承と育成に力を注ごう!!

世がどうあれ、結婚の原則を守ろう 主に従って行こう

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

私たちは、誰もが、結婚の祝福の実です。

子どもたちと共に、信仰を育みあいつつ、歩みます。

来るべき御国の祝福の確信をもって、世に遣わしてください。

感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」